



12月の園だより

令和6年12月 倉吉東こども園



日	曜	倉 吉 東 こ ど も 園
1	日	今週の音楽♪ ●モーツァルト・アイネクライネナハトムジーク・ディベルティメント・ピアノコンチェルト
2	月	
3	火	生活発表会リハーサル（さくら・すみれ・ふじ組）
4	水	
5	木	絵本貸し出し日 子育て相談13：15～14：15
6	金	
7	土	生活発表会（さくら・すみれ・ふじ組） 予備日①8日 ②11日（すみれ組）、13日（さくら・ふじ組）
8	日	今週の音楽♪●シューベルト・ピアノ5重奏曲 イ長調「ます」より
9	月	交通安全指導（以上児：安全なあそび・ゆり組：危険な飛び出し） 年末の交通安全県民運動 ～18日
10	火	ちびっこ探検隊（すみれ組） 運動あそび（ふじ組）
11	水	身体測定（ゆり組）
12	木	書道教室（ふじ組） 身体測定（たんぽぽ組） 絵本貸し出し日 子育て相談13：15～14：15
13	金	
14	土	土曜日お弁当の日
15	日	今週の音楽♪●ルロイ・アンダーソン・シンコペーテッドオクロック・そりすべり・舞踏会の美女
16	月	避難訓練（地震） 身体測定（もも組）
17	火	ちびっこ探検隊（ふじ組） 運動あそび・身体測定（すみれ組）
18	水	運動あそび・身体測定（さくら組） 音あそび（ゆり組）
19	木	書道教室（ふじ組） 音あそび（たんぽぽ組） 絵本貸し出し日 子育て相談13：15～14：15
20	金	誕生会 クリスマス会（ゆり・たんぽぽ・もも組）
21	土	
22	日	今週の音楽♪●チャイコフスキー・くるみ割り人形より
23	月	音あそび（もも組）
24	火	ちびっこ探検隊（すみれ組） 運動あそび・身体測定（ふじ組）
25	水	運動あそび（さくら組） 園だより発行
26	木	保育料等口座引落とし日
27	金	
28	土	土曜日お弁当の日
29	日	年末保育期間
30	月	年末休み
1/31	火	年末休み
1/1	水	元旦
1/2	木	正月休み
1/3	金	正月休み
1/4	土	年始保育期間
1/5	日	
1/6	月	
1/7	火	



発行日 令和6年11月29日

発行責任者 園長 足達 佐恵子

倉吉市上井781-1

TEL(0858)26-3436

E-mail hoikuen@kurayoshi.or.jp

HP <http://www.kurayoshi.or.jp/>

ゆり組

保育参加の様子



一〇月一七日、二十二日、三十一日の三日間、ゆり組のクラス懇談、保育参加、会食がありました。

今年度は最初に懇談をし、一時間という短い時間の中で生活面や友達との関わり等を中心にお話をしました。友達との関わりでは、一緒に遊ぶ事を楽しむようになり、関わりが年度当初より増えていく中で、思うようにならないと手が出たり泣き叫んだりする姿もあること。その際にまずは思いを受け止める事を大切に関わっていること。他の方法を一緒に考えたり伝えたり、「○○だった？」と思いを具体的に言葉にする関わりをしたりなど、一人一人の発達に合わせた関わりをしていること。をお話させていただきました。

後半は保護者の方の意見交換の場として、『食事（偏食）について』『寝かしつけ（体力がついて寝付きにくくなった）』『起床について』『スムーズな片付け方法』『トイレトレーニング』等色々な話があり、「うちも同じです」「こういう風にやっている」「うちもその方法やってみよう」等と意見交換をされ、充実した懇談の時間となりました。

懇談後は、保育参加があり子ども達もとても楽しみに待っていました。河原では虫探しやしっぽとり、汽車ごっこ等を、前園庭では木製遊具やロッキンパッピー、砂場等を、一緒に経験してもらいました。その後は会食があり、園でのいつも通りの姿や、そうでない姿の子も見られましたが、生活の流れや、やり方を実際に見て知って頂き、普段の様子を保護者の方と共有でき、園生活の細かいところも見て頂けたのではないのでしょうか。

言葉も出来る事も増え、友だち関係・遊びも広がり、やりとりが楽しくなっていく二歳児。その一方でこうしたいの出来ないもどかしさで気持ちが崩れたり、自己主張で関わり方も難しくなったり、悩みも多い時期です。子ども達の揺れ動く心に

寄り添い、家庭と園で喜びも悩みも一緒に共有しながら、成長を支えていけたらと思います。

懇談時、初めて読ませていただきました。仕事や家の事など、つい大人の都合でベースをつくってしまいます。そのため「万華鏡のように目まぐるしく変化する子供たちの気持ちに 대응することができなかった時があったかもしれない」と自分自身の行動を見つめ直す良い機会になりました。家の中でも、バタバタイライラしてしまう事もありますが、一旦立ち止まって子供たちと向き合えるよう、行動や気持ちに余裕をもっていきたいと思います。



保育参加は何日も前から楽しみにしていて「明日、保育参加？」と毎日聞かれていました。入園したての頃は泣きながら先生と手をつないで散歩をしていたのに、好きなお友達を自分で選んで、仲良く手をつなげていて、とても成長を感じました。まだ出来ない事も多く、イヤイヤしてしまう時も多いですが、出来る事を伸ばしてあげて、サポートしつつ過ごせたらいいなと思っています。



絵本を読んでいただいて、子どもの話を聞こうとは日頃から思っていますが、なかなか手を止めてまでしっかり聞いていないこともあり、自分のことのように思いながら絵本を聞かせていただきました。親が子どもの話を聞く姿勢で今後、子どもが心を閉ざす可能性を考えることで、これまでの姿勢を反省し、たとえ理解が難しい話でも話半分に聞かず、しっかり向き合って接していきたいと思いました。



子供と親共に心のゆとりが大事だと感じました。でも共に心のゆとりを作るのは、難しいので、まず親の方が、ゆとりを持つ事を心掛けて生活していきたいと思いました。まずは、子供がしゃべっている時は顔をみて話を聞いて、何を伝えたいのかを感じとりたいです。



初めて保育園で子供と一緒に過ごしてみて、楽しい、子供達が可愛いって思う反面、先生方はとても大変だなと感じました。毎日たくさんの子供達と過ごし、1人1人に合ったペースで接していると思うと感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、先生に絵本を読んでいただいて、普段忙しい時などに子供から話しかけられると、ついつい顔も見ずに返事をしているのかなって思いました。家でも子供と向き合う際は、しっかり顔を見て返事をするように心がけていきたいと思いました。



忙しいとついちょっとまって。と言ってしまうことがあったりと絵本のようにしてしまっているなと思いました。子供がねえねえきてよなんて言ってくることもあっていつまであるのだろうか？と考えた時、きつとすぐ大きくなり、頼ってくれることも減ってくるのだらうなと思います。なので、日々のなかで「ママー」と呼んでお話してくれることや一緒に遊んだりいれる時間を大切にしていこうと思います。

日々の家での生活をふり返って、私も動物の親のように料理をしながら、スマホをさわりながら、子どもの話を聞いていたかもしれない、気付かされたお話しでした。毎日こども園から経験したこと、発見したこと、しっかり目を見て聞いてあげたいと思いました。



現代を生きる子どもにとっても、子育てをする親にとっても、とてもメッセージ性の強い絵本を読んで頂きました。何度も読んだことがある絵本ですが、読む度に胸に刺さるものがあります。3才になった娘は、親の行動をよく見ていて、気持ちを言葉にして表現することも増えてきました。私がスマホを触っていると、「ケータイせんで」「ケータイおもしろいして」と言うこともあり、ハッとさせられます。親としては仕事で急ぎの用件(スマホでも)もありますが、子どもにとっては、子どもには、どううつのか、ということを考えさせられる絵本です。そして、あとがきに記されている、「話を聞いてほしい、思いを受け止めてほしいのは親」という点、親と子が穏やかに過ごすためには親のコンディションが重要であること、親の「今」に共感してもらえる内容でした。親も、自分を大事にしたい、しなきゃ！と思える読み聞かせ、ありがとうございました。



「ちょっとまってな」「今できんわ」ということが多くなってしまい、改めて反省のきもちと、少し手をとめて…ということができるように心がけてみようと思う時間でした。その時できなくても、後で絶対いっしょにしてやろうと日々思っているけど、できないこともしばしば…。大人の都合だけの生活ではなく、子ども中心の生活を心がけようと思えました。



忙しいとき、疲れた時に子供が話しかけてくると、適当な相づちになってしまったりしっかり話を聞いてあげてないことがやっぱりあり、絵本を見た時に普段の接し方を客観的に見ているようでした。忙しくてももう少し心の余裕をもって子供と接してあげてしっかり話を聞いてあげようと思います。





十月二十四日(木)に保育参加・クラス懇談・会食をしました。

保育参加では、良い天気恵まれ、いつも子ども達が遊んでいる河原で遊んでもらいました。親子で虫を捕まえたり、草花を摘んだり、見つけたものを図鑑で調べたり、親子で土手滑りをしたり、友達と誘いあって土手滑りをする子どもの様子を微笑ましく見守っておられたり、ボールや短縄を使ったあそびを親子で楽しんだりする姿が見られました。子どもたちは「楽しかった」「嬉しかった」と満足顔。保護者の方からは「普段の友達と遊ぶ様子が見れて良かった」「二対一でじっくり関わられて良かった」などの感想も頂きました。

クラス懇談では、今の子ども達の様子やさくら組で取り組んでいる「運動あそび」の振り返りを大切にしていること、この時期の発達の特徴、園での人権保育の取り組みについてお話をさせていただき、絵本『どうせどうせ』といったボクがそれをいわなくなった理由』を読ませていただきました。

小グループに分かれての意見交換の場では、保育参加の様子やお家での様子、成長を感じる姿など、色々なお話が聞かれそれぞれの家庭での体験談や悩みを聞いて共感し合ったり、うちではこんな方法でしている等、貴重な意見交換の場になったように感じました。



自己肯定感の大切さを改めて感じました。ありのままの自分でいいと子どもたちに感じてもらうには、親のこちら側からの声かけ1つで良い方にも悪い方にもなってしまっただなと思いました。

3ヶ月前より成長したなと感じることがあれば、まだまだ甘えん坊な赤ちゃんだと思う姿もあります。少しずつお兄さんになっていく素直な子どもの今の気持ちや考えを大切に、たくさんのありがとうを伝えていきたいです。ありがとうが言葉で伝えることができる子になれるよう関われたら、と思います。



人権・同和保育と聞くと難しく考えてしまっていたが、園長先生の読んでくださった絵本を見て、そんなに難しく考えなくてもいいのだと気づいた。小さな事で「ありがとう。」や「大好きだよ。」などを伝えたり、自分が言われたり、してもらったうれしい事を日々していく事が自尊心を育てていく事につながるのだと改めて思った。しかし、実際は忙しさからイライラして子どもと接してしまう事もあり、もっと温かい気持ちで関わっていききたいと思う。

お友だちと仲良くしゃべったり、遊んでいる姿を見る事が出来てよかったです。クラス懇談では、普段お話をする機会がないお母さんと方とお話が出来てよかったです。人権・同和では、自己肯定感を高めていってあげられるような関わり方が出来たらいいなと思いました。



自分の子どもとお友達が家での様子が似ていたのでもんだかホッしました。いろいろなお話が出来たので自分の家だけじゃないんだなという安心感が出ました。

園長先生の、子どもたちは行きつ戻りつで成長していく…のコトバが納得しました。自分の中で右肩上りに成長していくイメージが無意識にあった気がして。大人も子どもも行きつ戻りつ心にとめたいと思います。

いつも読んでもらう絵本にはとても心を動かされる瞬間です。分かってはいても自分自身の心とのバランスが上手くかみあわず子供たちに対応してしまいましたが、少しでも向き合っ
て個として受け止めて認め合える関係性でいた
いなと思いました！



クラス懇談



4歳になって、何でも自分でできるようになり、手がかからなくなった分、“何でできん？”
“何でわからん？”って言うことが、多くなってしまっていたなと反省です。子ども自身も“ごめ
ん”と言う姿や顔色うかがう姿、が増えているなと思いながらも、どうしてもできることを求
めてしまう部分がかったなと改めて振り返ってみると“ごめんね”と反省しないという気持
ちです。そんな中でも、“大すき”とか“わらって？”とか自己肯定感高める言葉を親の方がかけ
てもらっているなとすごく感じたので、もっともっと愛ある言葉をかけてあげないかなと思わ
せられました。



給食





たんぽぽ組 保育参加の様子

十一月十二日、十三日、十四日の三日に分けて、たんぽぽ組のクラス懇談、保育参加、会食を行いました。参加して頂きありがとうございました。

クラス懇談では、五月の懇談でお話した、クラス目標に対しての今の子ども達の様子や、保育者が大事にして関わっている事、園の重点目標についての取り組みなどのお話をさせて頂きました。

また、保護者さん同士で意見交換の場も作らせていただき、「イヤイヤ期真っ只中です」というお話がよく聞かれたり、「分かります」と共感されたり、「うちではこうしてます」と情報交換される方もあり、短い時間ではありましたが、保護者さん同士で色々な話を共有できていい時間になりました。

保育参加では音遊びを一緒に楽しむことができ、馴染みのある曲から、親子で楽しめる触れ合い遊びも一緒にして、普段の音遊びの雰囲気を見てもらうことができました。

二日目、三日目も天気が良く、お地藏さんまで散歩に出かけたり、裏園庭でゆったりと砂遊びを楽しみ、保護者の方に普段の様子を見てもらうことができました。

つい仕事を優先してしまい、子どもとの時間を減らしてしまい、関わり方がよくなかったと感じました。また各ご家庭の様子が聞いて良かったです。だいたい一緒なんだなと思いましたが、それぞれの個性に合わせたやりかたを大事にしたいと思います。

「ねえねえ、ママー！」「ねえねえ、みてー」など言われたあとに「ちょっとまってね」とすぐ言うので、忙しくても一度手を止めて見てあげなきゃなと改めて思いました。



クラス懇談



音あそび

大人にとっては些細なことでも、子どもたちにとっては毎日新しいことの発見ばかりだと思うので、一緒に居る時は、どんなことをしたのか、どう感じたのか話を聞けるようにしたいと思いました。共感する姿勢を見せて、これから先大きくなっても困ったこと、嬉しかったこと何でも話してくれる関係を築きたいと思います。

子どもとの関わり方をもう1度考えようと思いました。



いつも「ねえ、きいてよ」の絵本は何度聞いても心にくるものがある本の1つです。自分自身への余裕をつくっていくことは相手にも思いやりや優しさを与えられる事にもつながるので、そこも大切なポイントだなと思いました。少しでも耳を傾けて言葉を聞きたいと思います。

絵本を見て、普段何気なくやってしまっていることがたくさんあるなと思った。大人が忙しくしているときに、子供が来るときがよくあるが、冷たい対応をしてしまっていることが多いので、そういったときでも、一旦手を止めて、子どもの話をしっかりと聞いてあげることが大事だなと思った。



外あそび



絵本の内容が自分にかさなる所があるなと感じました。作者のあとがきには少し考えさせられるところもあり、たしかに子どもと私たち親たちの時間の流れが違うため、私がいっぱいいっぱいになってしまい余裕がないと子どもたちと向き合う大切な時間を疎かにしてしまっているのではないかな…？どこかでひと息ついてしっかり子どもたちの顔を見て向き合っていきたいと強く思いました。



久しぶりに絵本を読んでもらって、最近の私は子どもに待ってもらってばかりで余裕がなくなっているなあと思いました。自分に置き換えて考えたら、聞いてほしい話などを他の人(家族でも)に話した時、返事が上の空だったり、全否定だったりしたらとっても悲しいよなあと気づき、こどもに申し訳なかったと思いました。すぐに変われるかむずかしいですが、子ども優先で考えていけるように意識していきたいです。

給食



今回、読んでいただいた絵本を聞いて、実際に子どもにも同じような対応をしている時があるなあ、と感じていました。時間が無くてイライラしている時や家事をしている時は特に子どもに耳を傾けられていないので、今までの接し方を振り返りながら反省していました。また、普段を思い出すと、自分が携帯に集中していると子どもも同じようにテレビに集中していて、同じ部屋に居るのに、別々のことをしている時があります。「ねえねえきてよ」と、伝えようとする言動は子どもにとって大事な成長の種の一つであり、親子のコミュニケーションのきっかけにもなると感じました。今は言葉が上手く喋れないので、早く喋れるようになって沢山会話がしたいな、と思っているのに、向き合って聞いてあげないことで将来的に会話が薄くなるかもしれないのは本望ではないな、と思いました。その為に、普段から子どもと向き合って接する時間を作ること、子どもがやり遂げるまで待つことを心掛けられるようにしたい、と思いました。また、その時に聞いてあげられなくても、後から聞いてあげる時間を作ること大切だと思いました。常に 100%で接することも疲れてしまうので、親も子どもお互い息抜きしながら、楽しく伝える力を養ってあげられたらいいなと思います。

親子遠足 （すみれ組）



十一月一日、すみれ組の親子遠足を実施しました。

まずは皆で自己紹介。お家の方には、子ども達の好きな所も紹介して頂き、それを聞く子ども達の嬉しそうな姿が微笑ましかったです。

その後はイントロドンや、ジャンケン遊び、ミニ運動会を親子で楽しみました。どの遊びも、子どもも大人も一生懸命！お家の人に「抱っこ・おんぶ・お姫様抱っこ」のどれかをしてもらえる『動物変身リレー』では、希望のカードが出るまで挑戦し、大満足な様子でゴールする姿が可愛かったです。

『お家の人を驚かせちゃおう』と、一人ひとりが内緒で作ったお面を付けて、お家の人の前で「トリック オア トリート！」。一日遅いハロウィンドンッキりも大成功でした。

待ちに待ったお弁当タイムでは、皆が嬉しそうに美味しそうに食べている姿が印象的でした。お弁当を食べてからもいっぱい遊び、終わりの時間になっても「まだあそびたい！」と。

子ども達の楽しそうな姿がたくさん見られ、元気いっぱいな姿に大人も元気をもらえた楽しい親子遠足になったのではないかと思います。



十二月の保育のすすめ方

★ふじ組（五歳児）

《生活》

- 手洗い、うがいをすすんで行い、風邪を予防する
- 昼寝をせずに過ごす。休憩時間には静かに身体を休める

《食育》

- 野菜の皮むきをする（にんじん）

《文字・数あそび》

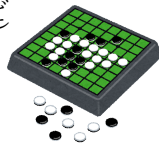
- オセロであそぶ
- トランプであそぶ（七ならべ・神経衰弱など）
- 編み物をする

《伝承あそび》

- あやとりをする
- こままわしをする
- けんだまをする

《表現》

- ピアノニ力演奏をする
- 役になりきって、表現あそびをする
- 《季節の歌》
- ・ジングルベル
- ・あわてんぼうのサンタクロース



★すみれ組（四歳児）

《生活》

- 手洗いやうがいを、正しく丁寧に
- 薄着の大切さを知り、自分で衣服調節をする

《食育》

- 野菜の皮むきをする

《文字・数あそび》

- ひらがなカードであそぶ。
- ・言葉集めをする。
- 自分の名前を読む。
- しりとりあそびをする。

《運動あそび》

- 跳び箱
- ・馬乗りになる
- 転がしドッジボールをする
- 《ちびっこ探検隊》
- 生き物の冬ごもりの様子に興味・関心を持つ

《表現》

- 楽器を使って、合奏をする
- 役になりきって、表現あそびをする
- 《季節の歌》
- ・赤鼻のトナカイ
- ・あわてんぼうのサンタクロース



★さくら組（三歳児）

《生活》

- 手洗い・うがいの必要性と正しいやり方を知って
- 身体の異常を自分から保育者に訴えることができる

《食育》

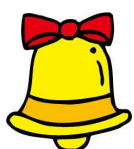
- イチゴの苗の水やりをする

《文字・数あそび》

- ひらがなカードであそぶ
- ・しりとりあそび
- 数を数える
- 《運動あそび》
- ボール
- ・ゴムボールを受け止め、下手投げで返す

《表現》

- 跳び箱
- ・腰程度の高さの跳び箱に馬乗りになる
- 季節の歌
- ・ジングルベル
- ・あわてんぼうのサンタクロース
- 《表現》
- ・表現遊びをする
- ・楽器を使って音遊びをする



ゆり組（二歳児）

- ・戸外であそんだあとは丁寧に手洗い、うがいをする
- ・食事のあと、ぶくぶくうがいをする
- ・ごっこあそびや集団あそびを通して友だちと一緒にあそぶ楽しさを味わう

△戸外あそび▽

- 散歩に行く。
- ・雪や氷などを見たり、触れたりして季節の変化を感じる。
- 河川敷であそぶ。
- ・ボールを蹴ったり、投げたり、転がしてあそぶ。
- ・しっぽとりをする。

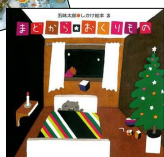
△室内あそび▽

- 指先を使ってあそぶ。
- ・クリスマスマスの小物作りをする。
- 楽器あそびをする。
- ・カスタネット、鈴などの正しい持ち方や使い方を知り、歌に合わせて鳴らしてあそぶ。
- ごっこあそびをする
- ・病院ごっこ
- ・お店屋さんごっこ
- ・お弁当ごっこ



- 以上児の部屋であそぶ
- わらべうたあそび
- 「あぶくたった」
- 「こどものけんかにおやがかり」
- 絵本を見る。

「まどからおくりもの」
「バスでおでかけ」



たんぽぽ組（一歳児）

- ・保育者や友だちと一緒に簡単なごっこあそびを楽しむ。
- ・ジャンパーの着方がわかり自分で着ようとする。

△戸外あそび▽

- 散歩に行く。
- ・冬の自然（雪）を見たり触れたりする。
- 第二園庭であそぶ。
- ・ボールあそび・短縄であそぶ・しっぽとりをする。
- 園庭であそぶ
- ・サーフなどを使って運動遊びをする。

△室内あそび▽

- ごっこあそび・みたてあそびをする。
- ・お風呂ごっこ・ままごと
- 手先を使ってあそぶ。
- ・折り紙・のりを使ってあそぶ。
- ・クリスマスマスの製作をする。
- ホールであそぶ。
- ・鉄棒を握り、地面に足をつけて体をゆする。

○音遊びをする

- ・鈴やカスタネットを鳴らして遊ぶ
- わらべうたあそび
- 「かたどん ひじどん」
- 「ペッタラペッタラ」
- 絵本を見る。

「ねてるのだあれ」
「まどからおくりもの」



もも組（0歳児）

△戸外あそび▽

- 一歳児
- ・散歩に出かけ、冬の自然（雪）を見たり触れたりする
- ・第二園庭であそぶ。（ボールを転がして遊ぶ）

△室内あそび▽

- ・音あそびをする（全月齢）
- （マラカタス、薄布）

○一歳児

- ・ホールであそぶ（滑り台・平均台・マット）
- ・押し車、ダンボールなどを押してあそぶ。
- ・トレインカースロープ、パズルボックス等であそぶ
- ・お絵かきをする。

○わらべうたあそび

「おでんでんぐるま」
「あわもちねねね」

○絵本を見る。

「クリスマスのおぼけ」
「おおさむこさむ」





給食室からこんにちは



落ち葉が舞い落ち、やっと秋も深まる頃となりました。例年に比べ気温の高い日が続き、日中は汗ばむ日も。朝晩の寒暖差や急に吹く風が冷たさを感じ、少しずつ冬の訪れも感じられるようになりましたね。体調管理も難しい季節です。早寝早起き朝ごはんの習慣を継続し、元気に過ごしていきましょう！

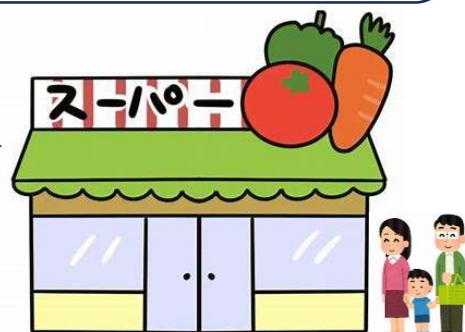
食育目標～感謝して食べましょう～

『毎日の食事や給食が出来るまでに、どんな人たちが関わっているでしょう？』と、子どもたちと考えました。
お家では➡



「お母さんとお父さん！」「おばあちゃん！お姉ちゃんもたまに手伝っているよ！」と家族の皆さんが食事の準備をしている様子をしっかりと見ている子どもたちでした。包丁に憧れている子どももいました。

「あじそう！マルイ！ザグザグ！ラムー！」と近くのスーパーマーケットが沢山聞かれました。お買い物へ一緒に行くと沢山の食材に触れ、食への興味関心が広がります。公共施設なのでお買物をするときはマナーを守ろうね、と子どもたちに話しました。



こども園では➡



給食の先生。材料は「…？？」業者の方と会うことがないのでピンときていない子どもたちでしたが、野菜、肉、魚などそれぞれを運ぶ仕事がある事を伝え、時折「へえ～」と驚きながらきいてくれました。

食材となる野菜や動物を育てている人たちや、食べ物になる動物たちがいる事も話しました。

家畜は人に栄養を与えるために育てられていることに『かわいそう…』と呟く様子もありましたが、血や筋肉、骨を丈夫にするためには、動物からの栄養をもらわないと、人は生きていけないこともしっかりと聞いてくれた子どもたちでした。

たくさんの人や家畜へ感謝の気持ちを伝えながら食事を食べて欲しいことを伝え、どうしたら毎日の食事の時間に感謝が伝わると思う？と子どもたちと考えました。



のこさず食べよう

【給食の先生やお家の人に「ありがとう」って言う】
【「いただきます・ごちそうさま」のあいさつを言う！】
【全部食べる！残さず食べる！】

残さず食べることが食材を無駄にしない事に繋がり、感謝の気持ちとしてたくさんの人に伝えることに気づけました。



虹のかけはし



苦情・ご意見・ご要望にお答えして

園長 足達 佐恵子

体調管理が難しい時期に入ってきました。

十一月中旬までは、少し動くと汗ばむくらいの暖かな日が続いていましたが、中旬以降急激に気温が低くなり体調を崩す子どもさんが増えてきました。

マイコプラズマ肺炎に感染された子どもさんも数名ありましたが、咳・鼻水・発熱など風邪症状の子どもさんもあります。

昨年のこの時期には、インフルエンザが流行し対応に追われたことを思い出しました。まだ、園内には入って来ていませんが、引き続き感染症対策をお願いします。

感染対策の基本は、

- 手洗い・うがい・消毒・換気
- 生活リズムを整え、早寝早起きの習慣化
- しつかり身体を使って遊び、好き嫌いせず食べて、丈夫な体づくり



十一月に認定こども園連盟全国研修会があり、「乳幼児の感染症とその対策」

講師 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 理事長 五十嵐 隆氏 の講演を聞く機会がありました。

その中で、感染症を予防する具体的な感染症対策は、【手洗い】が重要であり、子どもは流水手洗い（指の間もしっかり洗う）が基本との事でした。

他に手洗いについて調べていると、ある小児科の先生は、手洗いの目的は、手についた雑菌や異物を洗い流すことが目的であり、園で流水でも「手洗い」を行っている点については、最低限の感染症対策は取られていることになる。

私見にはなるが、幼稚園や保育園では、手の洗い方も十分理解できていない可能性もあり、流水で指の間まで手洗いを行う、その後しっかりと水分を拭き取る事の方が、石鹸を使用するより大事であると考え。との考えが述べられていました。

厚生労働省が作成している「保育所における感染症対策ガイドライン」では、石鹸を使用した「手洗い」が推奨されています。

当園では液体石鹸や泡石鹸も利用していますが、園は集団生活の為、きめ細かい対応が難しい状況もあります。が、子ども達にも、なぜ手洗いが大事なのか具体的な手洗いの仕方や洗った後の手拭きの重要性などを年齢に合わせて話をしています。

これからますます寒い時期に向かい手洗いがおっくうになります。引き続き園でも良い習慣が身につくように援助していきたいと思いますが、ご家庭のご協力もよろしくお願いします。



保護者さんより・・・

●インフルエンザが流行してくる時期ですが、予防接種は他の子どもさんはされていますか？

先ほどの研修会において、予防接種についての話もありました。

予防接種（ワクチン接種）の目的は

★感染症にかかる前にワクチンを接種することで、免疫をつけ、感染症の発症予防または軽症化させる

ということでした。

インフルエンザの予防接種は、任意ではありますが、今年から鼻の中に入れる方法も取られるようになりました。詳しい事は、かかりつけの医師に相談されることを伝えました。

園は集団生活の為、一度感染症が入ってくると蔓延する可能性が高いので、インフルエンザに限らず、早めの対応をお願いします。



その他

●園で喘息症状の出た際に、吸入器を使用してほしいので持ってきてもいいですか？

吸入器を預かる場合は、まず気管支喘息として「アレルギーの生活管理指導表」を主治医からいただく必要があること、その際園での吸入が必要かどうか相談して欲しい旨お伝えしました。

●排泄時の援助を出来る範囲内でしていただけないでしょうか？

保護者の方も、園が集団生活で大変な状況を知って下さっており、【できる範囲内で】と控えめに伝えていただいております。園側も出来るだけ努力はしますが、十分に対応できない状況もある事を、今後ご理解いただきますよう、よろしく願います。

ただし、どうしても無理な場合はお断りする場合もありますのでご了承ください。



●年長ふじ組 お昼寝について

お昼寝がなくなると子どもから聞きました
が、お布団の準備はもうしなくて良いですか？



就学に向けて十一月二十日から少しずつお昼寝の回数を減らし、生活リズムを整えるようにしています。

いきなり全部無くすのではなく、子どもさんの様子を見て、少し寝た方がよい子どもさんや子ども自身が寝たい要望があれば選択できるようにしていますので、もう少しお布団の準備はお願いします。

週末になると、どの子どもさんも疲れがたまってきたので、可能な範囲で早めに迎えに来ていただき、疲れが残らないようにしましょう。



●お迎えの時間、さくら組の前の階段がとても混雑して通りにくいので、対応よろしくお願いします

時間によっては通りにくい状況がありましたので、保育室の中に少し入って頂くよう対応を変更させていただきました。ご迷惑をおかけしました。

●お迎え後子どもさんだけで、駐車場に向かっている姿を見かけ【あぶない】と思う場面もありました。
丁度傘も持参しており、傘をふり回していたので気になりました。と教えて下さいました。

十一月号虹の架け橋でも掲載しましたが、登降園の際は、保護者・大人同伴での送迎をして下さい。

ほんのわずかな距離ですが、子どものことですので、突発的な動きもあります。

お互いが気をつけることで事故防止に心がけましょう



今年も後一か月で新しい年を迎えます



今年度は、重点目標として子ども達の言葉での表現を大切にしていきたいと、年齢に合わせた取り組みをクラス懇談などで説明をさせていただき、保護者の皆さまの協力のもと取り組んでいます。

その表現の発表の一つの場として、三歳以上児対象とした『生活発表会』を計画させていただいています。

子ども達は、運動会の時の取り組みと同じく、担任と色々相談しながら、発表内容を決めて取り組んでいます。表現が得意な子どもさんあれば、苦手な子どもさんもあります。一人ひとりが自分の持っている力を出して、その子どもさんなりに表現できることを願って取り組んでいます。

ぜひご家庭におきましても、子ども達の様子を見ていただき、励ましたり認めたり、時には相手になりながら、子ども達の意欲を応援してあげて下さい。

当日はどんな姿になるかわかりませんが、取り組みの過程で得た自信は今後の生活や遊びに大きく発展していくと信じていますので、ご理解・協力をよろしくお願い致します。



そして、三歳未満児クラスで実施してきた保育参加・クラス懇談・会食は、二月のものも組さん（二回目）を最後に終了します。

日々、様々な取り組みの中で、子ども達との生活や遊びが少しでも豊かになる事を願って努力しているつもり

ですが、なかなか余裕がなく対応不足も多々あるのが現状です。

しかし、保護者の方からの感想や送迎時での話、連絡ノートでのご家庭の様子などを読ませていただくと、本当に子育てに前向きで、一生懸命子ども達に向き合おうと努力されている姿に、私たちも頑張らないと、という気持ちにさせられます。

年末年始子どもさんとの時間を大切に、元気に過ごしてください。

来年、令和七年が、皆様にとり良い年になりますことを願っています。

嬉しいエピソード



先日、河北中学校三年生との交流があり、たくさんの方から「お父さんお母さんにもよろしく伝えてね」と声をかけさせてもらいました。翌日その保護者さんからメールが届き、メッセージと共に、赤ちゃんの時の写真と今の写真も送って来て下さいました。保育者としての喜びを感じた一日でした。



◎このコーナーへのご意見・感想などありましたら、ノートや口頭・意見箱でもお受けしています。

おしらせ



☆ 生活発表会

《日時》 十二月七日（土）

さくら組

九時十五分～九時四十五分

すみれ・ふじ組

十時三十分～十二時

《場所》 倉吉東児童センター遊技室

《内容》

ふじ・すみれ・さくら組の子どもたちが、日頃の生活やあそびの姿をステージで表現します。

《登園時間》

さくら組

八時三十分

すみれ・ふじ組

十時



※今年度も二部構成で『生活発表会』を行います。
詳細につきましては、既に配布している文書をご覧ください。

※わからないこと、聞きたいことなどがありましたら職員に声をかけて下さい。

※一人ひとりが生き生きと言葉や体を使って表現する楽しさを経験し、お家の方々に見ていただくことで自信をつけて欲しいと願っておりますので子どもたちへの励ましをよろしくお願いします。

なお、準備物や登園時間等でご無理をお願いする

こともあるかと思いますが、ご協力よろしくお願いします。

大雪で延期の場合

・ 十二月八日（日）

時間同上

さらに延期の場合

（すみれ組）

・ 十二月十一日（水）九時三十分～十時三十分

（さくら組）

・ 十二月十三日（金）九時三十分～十時

（ふじ組）

・ 十二月十三日（金）十時二十分～十一時四十分



☆ 行事の変更（ふじ・すみれ・さくら組）

（ふじ組）

十二月 三日（火）運動あそびはありません。

五日（木）書道教室はありません。

二十六日（木）書道教室はありません。

（すみれ組）

十二月 三日（火）探検隊はありません。

（さくら組）

十二月 四日（水）運動あそびはありません。

十一日（水）運動あそびはありません。

☆ ふじ組のお昼寝のお知らせ

一月中旬からのお昼寝は、無くなる予定です。



☆ 個人懇談（ゆり組）

《日にち》

一月十四日（火）～十七日（金）

※詳細につきましては、後日お便りを配布します。

☆ 奉仕作業の案内

《日時》 一月三十一日（金）十三時半～十五時

《内容》 園内外清掃及び絵本修理

※この日にお願する保護者の方には事前にお知らせしますのでよろしくお願いします。

☆ 年始の給食提供の中止のお知らせ

十一月二十六日（火）に配布した年末年始の保育希望の案内でご案内していますが、一月四日は仕入業者が休業の為、給食の提供ができません。
お弁当の準備をお願いします。

※メール回答期限は十二月四日（水）です。（全員です）





	月 (2日・9日)	火 (3日・10日)	水 (4日・11日)
昼食	ごはん 鶏肉のつけ焼き 白菜のごま和え きんぴらごぼう なめこと豆腐のみそ汁	ごはん 赤魚のゆずみそ焼き ブロッコリーのサラダ じゃがいもの炒め物 きのこの澄まし汁	ごはん 豚肉と大豆のトマト煮込み 切干大根のサラダ 白菜とあさりの煮びたし 白ねぎのかきたま汁
午後のおやつ	ヨーグルト シナモンシュガーパイ	ヨーグルト ココアフレンチトースト	ヨーグルト あんこ春巻き
	木 (5日・12日)	金 (6日・13日)	土 (7日・21日)
昼食	ごはん 鯖の照り焼き ほうれん草の和え物 大根とこんにゃくの煮物 さつま芋のみそ汁	ごはん 肉豆腐 きゃべつのサラダ れんこんのカレーそぼろ炒め わかめのみそ汁	【第1・3土曜日】 コッペパン 鶏肉と白菜の中華スープ バナナ
午後のおやつ	ヨーグルト もちもちスティックパン	お茶 肉みそおにぎり	ヨーグルト せんべい



	月 (16日・23日)	火 (17日・24日)	水 (18日・25日)
昼食	ごはん 鶏肉のおろしがけ 小松菜ともやしのごま和え かぼちゃのそぼろ煮 白菜とかまぼこのすまし汁	ごはん 鮭のみそ焼き ほうれん草のサラダ ごぼうと鶏肉の煮物 玉ねぎと麩のみそ汁	ごはん ハンバーグ ブロッコリーの塩昆布和え 白菜とちくわの炒め煮 もやしのすまし汁
午後のおやつ	ヨーグルト おさつバター	ヨーグルト ハムとチーズのサンドイッチ	ヨーグルト きなこマカロニ
	木 (19日・26日)	金 (27日)	土 (9日・30日)
昼食	ごはん 豚肉の炒め物 白菜のおかか和え じゃがいものコンソメ煮 大根のみそ汁	年越しうどん ひじきの煮物 果物 (みかん)	【第2・4・5土曜日】 お弁当
午後のおやつ	ヨーグルト ヨーグルトパンケーキ	お茶 塩昆布とチーズの焼きおにぎり	牛乳 せんべい



行事	20日 (金) クリスマス 誕生会	
昼食	ピザトースト 鶏肉のから揚げ ブロッコリーとシーチキンのサラダ 冬野菜のスープ 果物 (みかん)	
午後のおやつ	ミルクティー クリスマスケーキ	

※月～金曜日の午前中のおやつはヨーグルトのみになります。

※土曜日の午前中のおやつは、第1・3土曜日はヨーグルトのみ、第2・4・5土曜日は牛乳とせんべいになります。